

会社案内



秩父蒸溜所

株式会社ベンチャーウイスキー

会社概要

社名 株式会社ベンチャーウイスキー

本店・事業所

秩父蒸溜所 〒368-0067

埼玉県秩父市みどりが丘49番

☎ 0494-62-4601

FAX 0494-53-9719

第二事務所、出荷倉庫、樽工場、第二貯蔵庫、第三貯蔵庫、第四貯蔵庫、

第五貯蔵庫、ボトリング棟 埼玉県秩父市みどりが丘4番1

秩父第二蒸溜所、第六貯蔵庫、第七貯蔵庫 埼玉県秩父市みどりが丘79番

事業内容 ウイスキー製造

資本金 4100万円

創業 平成16年9月3日

代表者 代表取締役会長 宮前恵一

代表取締役社長 肥土伊知郎

あくといちろう
肥土伊知郎

社是 「時と共に成長す」

目標 ウイスキーの製造理論を学ぶ事

ウイスキーの製造を実践する事

ウイスキーの品質を追求する事

ウイスキーを通じ人々の人生を豊かにする事

ウイスキーを通じ己の人生を豊かにする事

計画 ウイスキーの魅力を伝えるための事業を行う

我々はウイスキー専業メーカーです



私は無類のウイスキー好きで、いろいろなウイスキーを飲み比べ、どうやったらその味になるのか、考えるのが好きで、挙句の果てはウイスキーの会社を立ち上げてしまいました。

ウイスキーの熟成には、数年から数十年という歳月がかかります。さらにその樽を作るために必要なオークの木は成長の早いホワイトオークで40年、ミズナラなどは100年以上の期間が必要です。ですから、皆さんのが飲んでいるウイスキーは、100年を超える自然の恵みをいただいているという事ができます。

このようにロマンに溢れるウイスキーですが、その事業の特殊性から大企業による経営か、中小企業の多角化の一部でしか成り立たない事業だと思われてきたようです。そんな中でウイスキーしかつくりない会社を立ち上げたのですから、「今時、ウイスキーの会社なんて」と何人の人にいわれたことでしょう。確かに、80年代になるとウイスキーブームが終わり、有名なブランドですら売れなくなるという衰退期が長く続きました。しかし、ウイスキーの総市場は縮小しましたが、統計上出てこなかったシングルモルトなどの個性的なウイスキーは大きく伸びていました。実は市場が成熟するとともに、こだわりや本質を追究する消費者が台頭してきていたのです。世界的にこうしたウイスキー愛好家が増加しています。プロ並みのテイスティング能力を持ち、その品質に対する要求度は非常に高い半面、ブランドなどには左右されない人たちです。つまり、本物の味や造りを追求すれば、会社の規模などは関係ない時代がやってきたともいえます。

当社ではこうした高い基準をもった人たちをターゲットに品質を追求いたします。

ウイスキー以外造る物がないわけですから、その品質を高めてゆくのは当たり前のことと考えております。

ウイスキーの語源となったゲール語の「ウシュク・ベーハー」は「生命の水」という意味です。私の夢は歳をとってもウイスキー造りを続け、夜は自分の作った30年物のウイスキーを堪能し疲れを癒すことです。しかし、この時に造っているウイスキー原酒は自分の口には入らないでしょう。未来への贈り物としたいと思います。

日本唯一のウイスキー専業メーカーとしての誇りと重みを感じ、次世代のために「生命の水」を残していくたいと考えています。

株式会社ベンチャーウイスキー
代表取締役社長 肥土伊知郎